

経営のヒント105 リーダーは育てるもの！・・・と心しよう

成績抜群者はリーダーではない！ 成績を抜群にする人がリーダーである！

最近のニュースでは、大相撲、次から次に問題が出てきていますね！

北の湖理事長、少し可哀そうに思います！確かに企業で言うと経営トップです。

しかし、彼には本々、組織のトップになる資質があったのかどうか？疑問です。

先日の記者会見の話でも、たどたどしく、文面を読み上げるのが精一杯。

彼は中学卒業（？）と同時に相撲界に入り、最終的に横綱まで上り詰めた人です。

しかし、どうですか？

失礼だが、勉強できたとは思えないし、ただ相撲が強かっただけですよね。

それを「組織のリーダー」にしたことが大きな間違いではないでしょうか？

このこと、

今のビジネスの企業世界でも同じなのではないでしょうか？

以前「営業成績が抜群だった！」・・・だから現在のポジションは「営業部長」

・・・本当にこれでいいの？

治世・・・平穏無事な世の中であれば、どうにかなるが、

現在のような激変の時代、乱世では、無理なことは当然のこと。

この10月9日のメールを見返して自分なりに反省しました。

評論だけではないか？.....どうすればいいかの意見がない！

そこで、どうすればリーダーになるのか？

私の考えでは、「リーダーは育てるもの！」を考えています。

当然、元々の素質や個性がありますが、リーダーの訓練をしなければリーダーになれない！

例えば、野球界でも名プレーヤー＝名監督ではない。

名監督になるには、コーチになる勉強をし、そして実際に経験を積むようなステップを踏む。

野球でも、サッカーでも、スポーツ界でもそのような動きをしています。

ビジネスでも同じではないでしょうか？

私も企業内研修にてリーダー育成研修をしていて感じることは、大切なことは何か？

「理想の上司とは？」という質問をすると、表面上は面倒見が良いとかありますが、

本質は「自分を成長させてくれる」上司なんですね。

では、具体的にどうすればいいのか？

それはコーチングやファシリテーションが必要だと思います。

素質があると可能性があるメンバーをこのスキルの訓練させる必要があると思います。

(次回に続く)

<経営のヒント>

リーダーは育てるものと・・・心しよう!

勝手にリーダーになるのではない。

ましては、過去に成績が良かったからと言って上司にはいけない!

上司にするには、上司になるような訓練と経験が必要なんだと・・・心しよう!

理想の上司とは、自分を成長させてくれる・・・それが本質であると・・・心しよう!